



憲法9条の会つくば

コミュニティーニュース

2007. 11. 18 No. 18

ゆ **結** い

発行 「憲法9条の会つくば」

〒305-0005 つくば市天久保1-10-12 1-401

電話 090-3811-3753 Fax 029-856-2286

<http://peace.arrow.jp/tsukuba/>

10月8日 設立2周年記念のつどい

映画「日本の青空」上映会

多数のご参加をいただき、ありがとうございました。

(2面以降に関連記事が多くなっています。)

くるくる変わる政局?! 油断禁物!

民主党小沢党首が自民党との「大連立」に意欲。それがうまくいかずに言ったことばが「民主党にはまだまだ政権担当能力が育っていない」だとか。もともと民主党も憲法を変えることに積極的。安倍前首相の大敗北と逃亡で、当分改憲派の氣勢もそがれたかに見られていたのに、氣勢のあがっていたはずの野党党首がふと仮面をぬいで、「やはり自民党と一緒にやりたい」と言い出す、この危うさ。

憲法9条は変えさせない! この声を一時も緩めず、より多くの国民の間に広めていくことの大切さを実感します。

「テロ対策法」? ペルシャ湾の入り口あたりで石油満タンで待機して、付近に展開する軍艦にサービスすることが、テロ防止とどういう関係があるの? 当たり前を考えれば、それを結びつけることには無理があります。だから民主党も「特措法」の継続に反対し、給油サービスは現在中止に。ところが、そんな時限的な法律ではなく恒久的な派兵法を成立させ、世界に貢献する、という議論が国会の前面に。テロとの戦いという名目でアメリカがイラクに対して行ってきたことを見れば“世界に貢献”の意味がわかります。くるくる変わる論点にだまされないように、しっかり国会を監視しましょう。



九条の会 全国交流集会について

現在、全国に6734団体の「9条の会」ができています。全国の9条の会の「第2回交流集会」が開かれます。

11月24日(土) 10:00~16:30 日本教育会館(東京虎ノ門)です。

我が9条の会からも、今のところ事務局から二人が参加の予定です。また「筑波地域憲法9条の会」からもお二人が参加を予定しておられます。また、この交流会では、若者たちの分科会があり、全国の若者たちが「9条運動」での経験を交流しあいます。つくばからもこの分科会への参加者がいるとよいのですが。

賛同人 607名 (市内471名)

11月10日現在

9条署名 累計4,567筆

11月4日現在

活動予定

11月24日(土) 九条の会全国交流集会

12月2日(日) 定例街頭署名活動

11時半~ 中央公園アルス図書館前集合

12月16日(日) 全国交流集会の報告会

10時~ 並木公民館

10月～11月 私たちの行動レポート

11月4日 月例街頭署名

毎月恒例のアルスホール前街頭署名に参加されたみなさん、たいへんご苦労様でした。今回は事務局メンバーで不都合な人が多く、どうなることか心配していましたが、そのかわり若手が2名参加されたばかりでなく、爽やかな天候に恵まれ、快適な気分で署名を訴え、チラシを渡すことができ、いつもに劣らぬ成果があがりました。

アルスホールでは「茗渓美術展」が開催されていました。中央公園の池にはシロサギとアオサギが飛来してきていて、その鳥のことを話して少し仲良くなった中年のご夫婦から、署名をいただいたりもしました。

「許すな！憲法改悪・消費税増税 守れ！いのちとくらし・雇用 10・28国民大集会」

という集会があるのを知った私は、その日曜日、東京の会場まで出かけてみました。主催者発表で42,000人の参加という大盛会でした。それぞれが思い思いの幟やプラカード、それに「ムシロ旗」で、「憲法9条を変えるな！」「いのちとくらしを守れ！」「若者に仕事を！」と訴えていました。この声を全国へ轟かせ、国会を包囲したいものですね。（伊藤）

10月8日 2周年記念のつどい・「日本の青空」上映アンケートから

つどいに参加くださった方々から、「日本の青空」の感想を中心に、約70通の回答をいただきました。全部載せることができなくてごめんなさい。

声高に護憲を言わず、策定でどれほどの願いがこめられたか、よくわかりよかったです。たまたま昨日NHKで憲法制定のドキュメントが再放送されましたが、市民権についても軽くふれられ、とても関心をもって観ることができました。1点ベアテさんは、つめの段階で一言も「自分が書いた」点は言わず、進行役の人もベアテさんの（女性）記述を言わなかったそうです。事実と異なる脚本でちょっと残念でした。（賛同人・50代・女・つくば市）

見たい映画だったのでこの機会はとてもありがたかったです。知らなかったことが多く、非常に興味が深かった。これから学んでいかなければと心をあらたにしました。（20代・女・つくば市）

感動的で涙が止まりませんでした。鈴木安蔵夫婦が戦争中を苦労して過ごしてきたことが、憲法の原点として実ったものだと思います。こんなすばらしい憲法を守らなければならないと一層心に誓いました。（賛同人・60代・男・土浦市）
感動しました。若い方もみただけの雰囲気でもよかったです。憲法の大切さを改めて確認しました。（賛同人・30代・女・つくば市）

若者にも見やすい映画でよかったです。（賛同人ではない・20代・男・石岡市）

良い映画でした。子どもの頃のニュース映画等で知り聞きした事など随分身近に感じ、昭和の「憲法」を守りたく思います。（70代・女・つくば市）

新しい感覚がベースにあるので古臭い作り物映画だろうと思っていたが、なかなか良かった。本当はとても良かった。でも一般にはなかなか地味すぎ。（賛同人ではない）

感動の一言。年甲斐もなく、女性編集者になりきってしまいました。（賛同人・50代・女・つくば市）

よかったです。日本の日本人による日本の歴史を踏まえた憲法であることがよく分かった。鈴木安蔵はすごい人です。（50代・男・つくば市）

今まで憲法について誤解していました。日本人が作ったものがもともとなっていることがわかって安心しました。（30代・女・牛久市）

思ったよりテンポが悪く、現代とからまず鈴木安蔵の人生を描けばいいのと思ったが、今まで憲法がどうやってできたのかも知らずにいたのでいい機会になった。“戦力を保持しない”と言っているのに大量の兵器を持っているのはおかしいと感じた。（賛同人ではない・20代・女・つくば市）

映画「日本の青空」が全国に広まって、憲法制定の経過が国民の常識となることを願う。映画の雰囲気は40年ほど前の「たち」などの映画と似ていて久しぶりの感あり（賛同人でない・60代・男・つくば市）

.....

質問；戦争をなくすためにはどうするのが一番良いでしょうか？ このアンケートを読んでいるあなたは肉親・親友・恩師等を虐殺されたとして、その人を赦す（死刑にしない）ことはできますか？（賛同人・20代・男・つくば市）

会へのご意見、アイデア等もたくさんいただきました。ここで取り上げるスペースがありませんが、しまい込まずに生かしていきたいと思っております。ありがとうございました。

会設立2周年記念のつどい・資料

「つどい」にご参加いただいた賛同人の皆様には繰り返しのようになりますが、当日の世話人代表（樋田）によるご挨拶と活動報告など（伊藤）を掲載します。

憲法9条の会つくば 設立2周年にあたって

本日はお忙しい中を「憲法9条の会つくば2周年記念のつどい」にご参加いただき、誠にありがとうございます。会が今日まで活動を続けてこられたのは、皆様の暖かいご支援とご協力があったからこそです。心より感謝申し上げます。

今、憲法、特に9条を変えようとしている人たちは「現憲法はアメリカがつくったものだから、日本人の手でいわゆる自主憲法を作るべきだ」と主張していますが、彼らの言うことは事実でしょうか。私たちは正しい歴史認識に基づいて平和運動を進めることが大切と考え、この「2周年記念のつどい」で、現日本国憲法誕生の真実を描いた映画「日本の青空」を上映することにしました。この映画を見ると、平和主義、主権在民、基本的人権など日本国憲法の骨格をなしている条文の草案が、鈴木安蔵を中心とした日

本人によって書かれ、改憲論者の言うようなアメリカによって押しつけられたものではないことが、はっきりとわかります。

内閣は変わりましたが、「憲法9条を変える」動きは変わりません。先日、教科書検定による「集団自決は日本軍の強制」という記述の削除への抗議として、沖縄の県民集会に11万人を超える参加があり、この力が政府を動かして始めています。先の参議院選挙でも示されたように、国民の声を一つにすれば、政治を動かすことができるのです。

今日、ここに居られるみなさんをはじめ多くの人々が手をつなぎ、このつくば地域に「憲法9条を守れ」の大きなうねりを起こそうではありませんか。この日本を「戦争のできる国」に絶対しないというのが私たちの決意です。共にがんばりましょう。

活動報告と今後の方向

活動報告

昨年9月発足した安倍自公内閣は、「戦後レジーム」からの脱却と「美しい国」を旗印に「5年以内の改憲」を公言し、昨年12月に「教育基本法」を改悪し、今年5月には憲法改悪のための「国民投票法」を強行成立させました。一方では国民の「生存権」をもないがしろにした国民軽視の政策を進めた結果、7月の参議院選で、与党は大敗しました。それにより安倍首相の政権放棄となり福田内閣に交代しましたが、福田首相もテロ特措法に固執するなど、「憲法改悪」のための道筋は引き継がれています。

このような憲法をめぐる動きの中で、私たちは「1周年記念のつどい」以後も、「憲法9条を守り、戦争のない平和な日本・世界を」と訴える活動を続けてきました。

1) 賛同呼びかけ

地域・職場・分野などで賛同を拡げるとともに、さまざまな機会に賛同を呼びかけました。

10月1日現在の賛同人総数は606人、内つくば市在住の方は469人です。これからも賛同を拡げる活動を積極的に続けていきたいと思います。

2) 署名活動

つくば市有権者15万人の過半数獲得を目標に「憲法9条を変えさせない」署名を個別に、地域ごとに、そして定期的に街頭で取り組みました。同時に「憲法改悪のための国民投票法案反対」の署名に取り組みました。10月1日現在、「9条を変えさせない署名」4346筆が集まっています。「憲法改悪のための国民投票法案反対」署名は、最終

的に3415筆を国会へ提出しました。

3) 地域ごとの活動

- ・昨年設立した「梅園・東・稲荷前9条の会」は、定期的な宣伝署名行動などで賛同を拡げています。
- ・6月に「筑波地域憲法9条の会」が設立されました。地域署名行動や小さな学習会などを積み重ね、賛同を拡げてきた結果です。
- ・他地域でも、各戸へのチラシなどの配布（谷田部地区）や「戦争の頃のお話を伺う会」（上広岡地域）などの小さな催しが行なわれ、これからへと繋げています。

4) 企画、催し物

- ・「1周年記念のつどい」（'06.12.17）では、品川正治氏（経済同友会終身幹事）による記念講演「戦争、人間、そして憲法9条」ならびに品川氏と中村恵一氏（元人間魚雷搭乗訓練員）と若者5人による「パネル・トーク」を行いました。
- ・「憲法改悪のための国民投票法案反対緊急市民集会」（4.14）を呼びかけ、市内の他団体とともに「憲法9条を守ろう！」と市民に訴えました。
- ・「並木公民館祭り」（5.26～27）にパネル展示出品し、賛同を訴えました。
- ・参議院議員選挙時（7.29）に、各政党・団体と茨城選挙区の立候補者へ「憲法改定」と「憲法9条」について公開質問状をだしました。そして、その結果を街頭配布し、市民へ「9条を守る」候補者への投票を働きかけました。

5) 広報活動

- ・コミュニティー紙「結」の発行を隔月とし、その時々

- 憲法をめぐる動きや会の活動をお知らせし、賛同人の積極的な参加を求めてきました。今後もさらに改善し、賛同人のコミュニティーの場としていきたいと思えます。
- ・オリジナル「9条チラシ」の他に「憲法改悪のための国民投票法案反対」などのチラシを作成し、街頭配布しました。「9条チラシ」はすでに5000枚以上配布し、他県の「9条の会」からも参考にしたいと問い合わせがありました。
 - ・ホームページやメールリストを充実させ、積極的な活用へのご協力をお願いしています。

これら会の活動を支えるために、月1回の事務局会と隔月の定例会を基本に、状況にあわせて会合を持ち、話し合ってきました。これからも話し合いをより充実させるために、体制の見直しと会議の持ち方などを検討していく必要があります。

今後の活動の基本

「憲法9条の会つくば」が3年目になることから、これまでの活動の反省点を改善し、つくば市有権者の過半数の方々に「憲法9条を守る勢力」になっていただくために、さらに賛同を助け、地域ごとの活動を基本に宣伝・署名行動を続けていく決意です。皆様のご協力をお願いします。

6) 活動体制



2周年記念のつどい 収支(概算)その他のご報告

(収入) 参加者: 402人 入場料: 約36万円、会活動カンパのご協力: 約17万3千円

(経費) 映画代: 約25万円(入場料の6割) 映写(技術)料: 12万6千円、

会場費: 約7万円、ポスターチラシ等印刷: 約4万円、その他、お知らせの郵送料など: 約4万円

(その他) 会場での9条署名: 59筆、賛同人申込 お1人

いろいろご協力ありがとうございました。

1面にも掲載の「九条の会全国交流集会」の

参加報告会 を開きます。

12月16日(日) 10時~12時半

於: 並木公民館

憲法にかかわる情勢や日本の「今」と、2周年を経過した本会の今後の活動について、全国の9条の会の活動経験をも聞きながら話し合いたいと思えます。世話人、賛同人の皆様、せわしない師走ではありますが、ぜひお集まりください。

本会の活動のための資金カンパ ありがとうございます。

引き続きよろしくお願ひします。

「結」を含む会の宣伝物や通信費は賛同者の皆様のご協力により支えられています。

郵便振込み口座: 番号 00100-3-742235

加入者名: 憲法9条の会つくば

編集後記

第一日曜日恒例のつくばセンターでの街頭署名活動。毎回、重い気持ちというのが本音です。しかし休むと、がんばって参加したメンバーがさびしくなるだろうな、と出向きま

す。「出る杭は打たれる」、目立たない、意見を言わない、それが日本人にとって一番大事な信条ではないでしょうか。街頭で誰彼かまわず声を掛けるのはたいへんな思い切りが必要です。確実に何割かの通行人には「出しゃばりが」とか「物乞いか」というように顔を背けられます。私の観察では二十歳代が多いように思えます。

本会のオリジナルちらしは、その種の人々にもチラシとでも見えてもらえたとき、ハツとしてみらえる可能性を期待して発案しました。

9条の条文が載っているのですが、それが「こつ変えられる」……いいのですか? 「国は戦争をする権利をもつ。国民は戦争に協力する義務を負ふ」……これ実は条文にもならない常識

戦争をする国になれば、「国」というわけのわからないものの命令で死に赴くことになる。逃げることはできない。その「国」とは、あの政治家だったりする。それが再び現実に迫ってきていることを、なんとか感じ取ってほしいと思えます。(吉門)